

景気回復 個人消費と大規模な経済対策がカギ

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「需要の停滞」の133社。2位が「原材料価格の上昇」の131社。「ニーズの変化への対応」が71社で3位。
- ★ 「現在の雇用人員」について、159社（60.2%）が「適正」と回答したのに対し、「不足」は98社（37.1%）と人手不足感が強くなっている。「過剰」と回答したのはわずか7社（2.7%）。
- ★ 「国内経済が回復するのに必要なことや課題」について、161社が「個人消費の回復」と回答したのが最多。以下、「政府の大規模な経済対策」91社、「コロナ治療薬の開発と安定供給」71社と続く。

令和3年10～12月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

令和3年12月に実施した第127回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が127回目。市内の500事業所を抽出し、集計企業数は270社（小売業82社、卸売業30社、製造業36社、建設業57社、運輸・交通業16社、観光・サービス業49社）で回収率は54.0%。

【概況】

今期（10～12月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況DIは、全業種平均で▲5.2と、3ヶ月前の前回調査から大幅改善。業況が「かなり好転」と答えた事業所が1.9%、「やや好転」が23.0%で、逆に「やや悪化」が23.4%、「かなり悪化」が6.7%だった。売上DIも▲37.1から35.6ポイント改善し▲1.5。採算DIも30.9ポイント改善し▲13.4。原材料（商品）仕入価格は46.0から58.9と上昇中。業況・売上・採算とも数字的には大幅改善という結果にはなったが、前期（7～9月）は緊急事態宣言が発令されていた期間もあり三次市内でも経済活動が大幅に制限され、その反動により数字的に改善した側面もある。また、売上に比べ採算の改善幅が小さい現状も伺える。これに対しては、「仕入・原材料費の高騰分を価格に転嫁できない」、「人手不足や最低賃金引き上げで人件費が占める割合が増えた」など、事業者が企業努力で乗り切れる限界を超えてきているといった声が寄せられ、額面通り景気が回復していると判断する状況にはない。

今回事業所に対し、「国内経済が回復するのに必要なことや課題は何だと思うか」と尋ねたところ、最も多かったのが「個人消費の回復」で161社。次いで「政府の大規模な経済対策」が91社、「コロナ治療薬の開発と安定供給」が71社、「原材料価格の高騰への対応」が53社などだった。新型コロナウイルス感染症が発生から2年以上が経過し、コロナ治療薬の開発と安定供給が望まれる一方、国内経済の回復には個人消費の回復と政府の大規模な経済対策が必要だとの考えが大半を占めた。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

業況DI	(好転割合) - (悪化割合)
売上DI	(増加割合) - (減少割合)
採算DI	(好転割合) - (悪化割合)

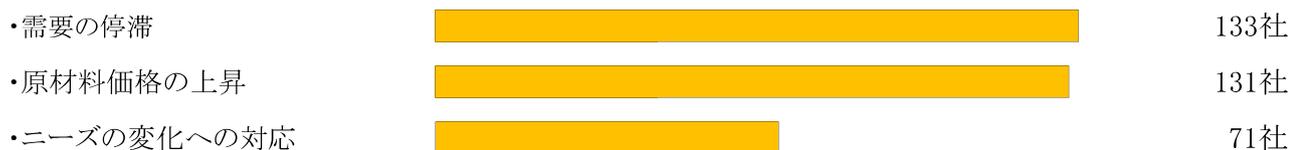
業況は、全業種合計で今期▲5.2。業種別では、建設業を除く5業種で改善。ただ、大幅改善した観光・サービス業（▲56.0→0.0）、運輸・交通業（▲52.9→0.0）、卸売業（▲14.3→33.3）は、昨年8月～9月の緊急事態宣言で営業や販売に大きな制限を受けた事業者が多くを占める業種だった。

売上は、全業種合計で今期▲1.5。業種別では前期（7月～9月期）と比べ、すべての業種で改善。主な要因としては、「季節的な増加」や「企業（経営）努力」の他、「そもそも前期は営業制限がかかっていた」などコロナによる反動などが挙げられた。

原材料（商品）仕入価格は、全業種合計で今期58.9。原油価格や原材料費の高騰、半導体不足による価格の高騰など、あらゆるものの仕入価格が上昇傾向にある。

採算は、全業種合計で今期▲13.4。業種別では、売上同様、すべての業種で改善したが、数字的には売上ほど改善した結果にはなっていない。理由としては、「売上原価（仕入・原材料費）の上昇」や「販売費及び一般管理費の上昇」などが挙げられた。

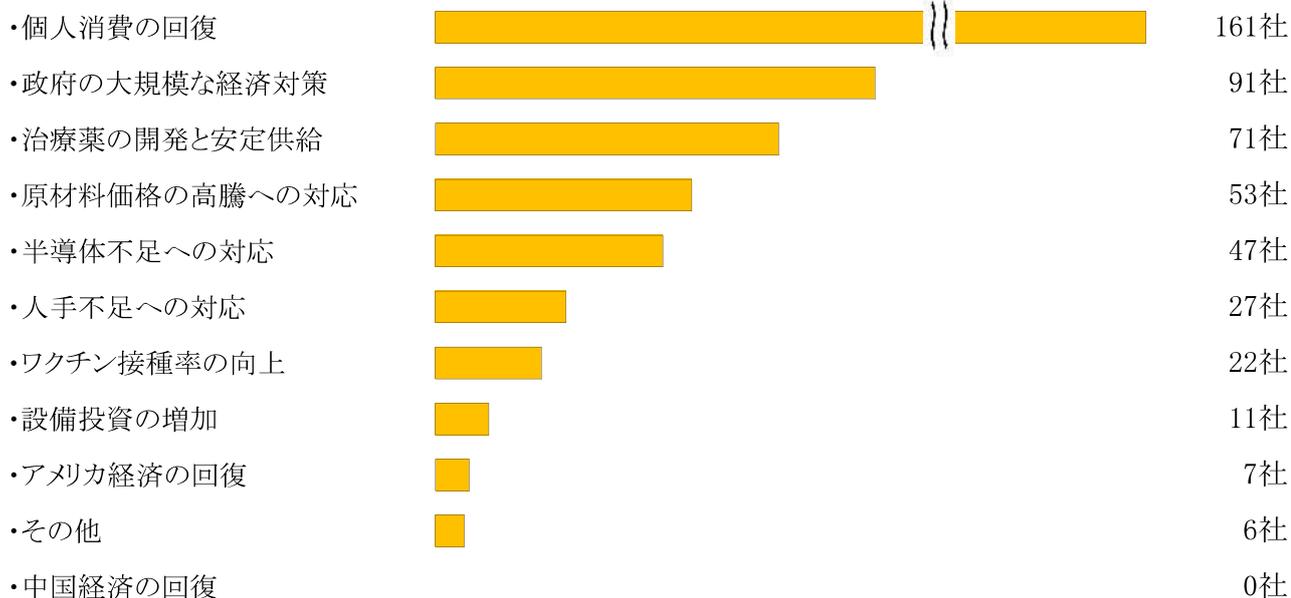
【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



【現在の雇用人員についてどのようにお考えでしょうか？】



【国内経済が回復するのに必要なことや課題は何だと思われますか？】(2つ以内)



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 5.2	▲ 22.0
小売業	▲ 20.7	▲ 25.9
卸売業	33.3	▲ 13.3
製造業	2.8	▲ 13.9
建設業	▲ 14.3	▲ 23.2
運輸・交通	0.0	▲ 6.3
サービス業	0.0	▲ 30.6

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 1.5	▲ 24.0
小売業	▲ 16.0	▲ 23.8
卸売業	43.3	▲ 13.3
製造業	2.8	▲ 13.9
建設業	▲ 10.5	▲ 28.1
運輸・交通	▲ 6.3	▲ 6.3
サービス業	4.2	▲ 39.6

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

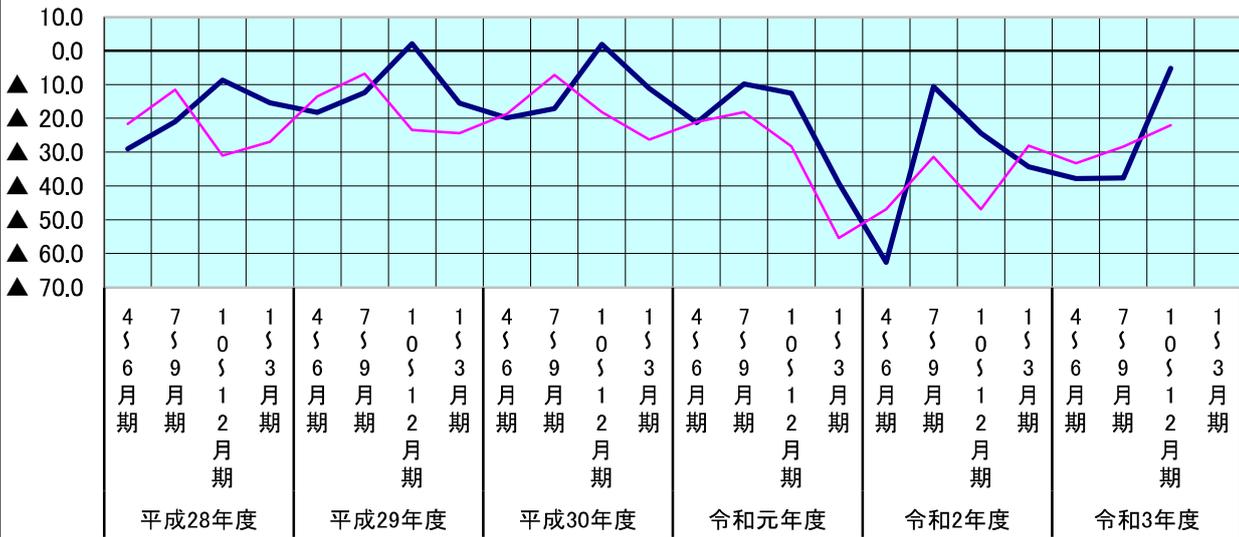
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 13.4	▲ 33.1
小売業	▲ 30.5	▲ 45.0
卸売業	26.7	▲ 23.3
製造業	▲ 5.6	▲ 22.2
建設業	▲ 15.8	▲ 33.9
運輸・交通	▲ 12.5	▲ 6.3
サービス業	▲ 12.5	▲ 35.4

(好転割合－悪化割合)

全業種

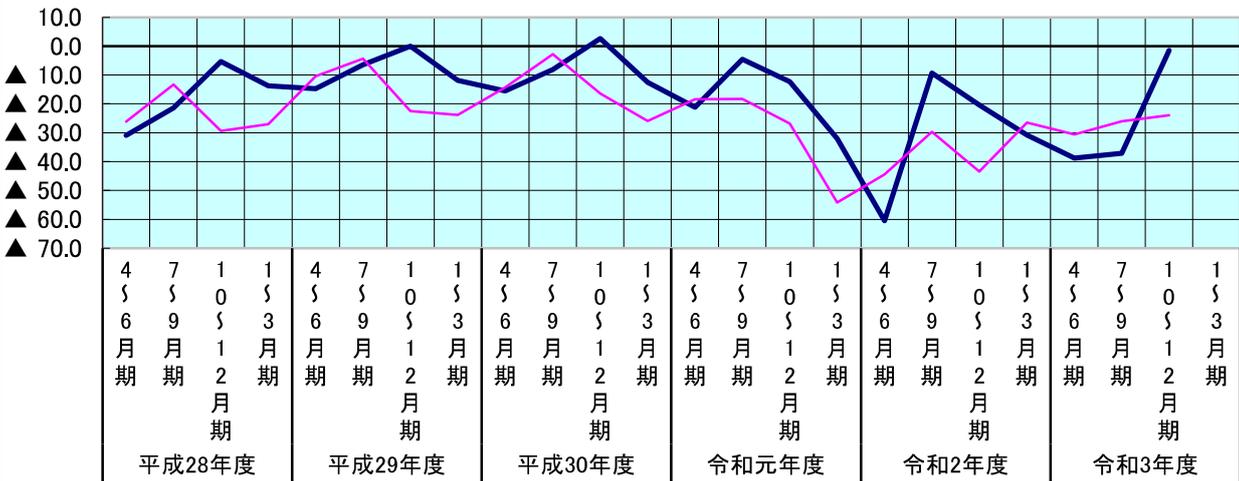
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



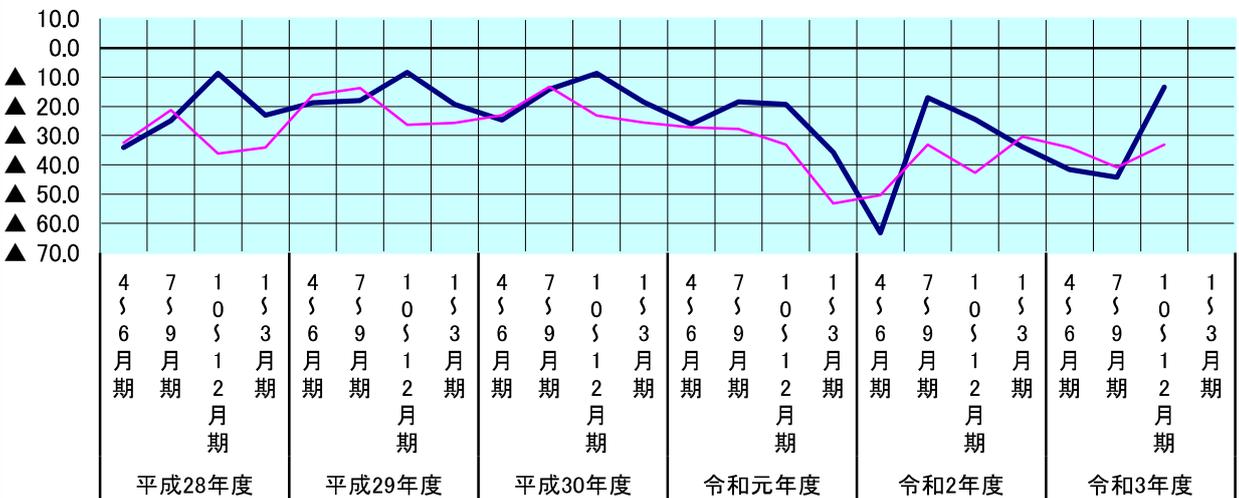
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し



採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	10月～12月 実 績			
	1～3月 見 通 し			
卸 売 業	10月～12月 実 績			
	1～3月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	10月～12月 実 績			
	1～3月 見 通 し			
建 設 業	10月～12月 実 績			
	1～3月 見 通 し			
運 輸・交 通 業	10月～12月 実 績			
	1～3月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	10月～12月 実 績			
	1～3月 見 通 し			

景気天気図の説明					
大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い